



但馬国府・国分寺館ニュース

編集・発行

2015.2 第40号

但馬国府・国分寺館
Museum of Tajima Kokufu and Kokubunji

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祇布 808
TEL 0796-42-6111 fax 0796-42-6112
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>



出石へ向かう混合列車 [昭和14年(1939) / 撮影: 谷川義春、提供: 安保彰夫]

鳥居を発車し、山裾に沿って菅川橋梁を渡り出石に向かう。先頭より22号+ワ101+ガ2号。

第34回企画展 **最初で最後の出石鉄道展** — 休止70年記念 —

山陰本線の江原駅と出石間を結ぶ出石鉄道は、昭和4年(1929)に開業し地元の足として愛されてきました。しかし、度重なる災害などで経営が悪化、軍による営業休止命令もあり、昭和19年(1944)に施設が撤去され休止されました。その後の復活に向けた陳情も実らず、昭和45年(1970)に正式に廃止されたのです。

本年度は、出石鉄道の休止から70年の節目の年にあたります。当時を知る方々も少なくなる中、「最初で最後」と銘打ち、市内に残る出石鉄道関係資料を集めた企画展を開催します。これを機に、鉄道に夢と希望を抱いていた人々に思いを馳せていただければ幸いです。

■ 展示協力機関 (50音順・敬称略)

有限会社出石印刷所 有限会社デジビット
豊岡市立出土文化財管理センター
豊岡市立美術館—伊藤清永記念館—
秋山雅美 荒井憲治 安保彰夫 伊藤康英 川崎幹夫
吉川義雅 犀川成行 下田誠一 角岡 巖 中村英夫
松本源明 松本孝之 山西康之

■ 会 期: 平成27年2月13日(金)～5月6日(水)

■ 特に記載のない写真・資料は、豊岡市教育委員会所蔵

Topics 開業翌年、昭和5年(1930)の出石鉄道

社名：出石鉄道株式会社
 資本金：50万円
 初代社長：石田源蔵
 営業区間：出石～江原 11.2km (単線、交換設備なし)
 軌道幅：1067mm
 軌条：30kg/m
 車両数：蒸気機関車2、ガソリンカー2、貨車6
 旅客数：72,991人 (1列車あたり約14人)
 貨物量：3,785 t
 営業収入 (上半期)：11,280円
 営業支出 (上半期)：30,230.6円



陸地測量部発行 1:5万地形図「出石」より。縮尺任意。

明治期の鉄道と出石

日本の鉄道は、明治5年(1872)に新橋～横浜間が開通した後、全国に普及していきました。山陰線は、明治25年(1892)に公布された鉄道敷設法において建設が決まっています。

鉄道敷設法の公布に伴い、但馬では鉄道誘致運動が燃え上がりました。出石郡の有志は、出石を經由するルートを陳情。しかし、^{はんかく}阪鶴鉄道(現・JR福知山線)や播但鉄道(現・JR播但線)の建設が進むにしたがって、山陰線のルートは福知山・和田山を通るルートに決まり、出石は鉄道から取り残されたのです。



想定・請願されていた山陰本線の主要経路



「山陰縦線鉄道二対スル願」(明治28年)
 【蘇武岳越えルートを求めた請願】



「山陰鉄道縦貫線二関スル意見書」(明治29年)
 【出石ルートを求めた請願】

2,000人が支えた出石鉄道

明治43年(1910)、山陰線が京都から鳥取まで開通すると、出石にあった官公庁や銀行は豊岡へ移転し、これまでの出石の繁栄ぶりに陰りが見え始めました。

そこで、出石の有志は大正8年(1919)に「出石軽便鉄道株式会社」を設立し、鉄道敷設免許を取得しました。会社の資本金は50万円。この50万円は、出石の住民約2,000人が株主となることで調達することができました。「住民皆で支える」という鉄道に対する強い思いを感じることができます。



出石鉄道株式会社 株券



建設工事の様子(中筋～大谷間)
 [撮影年不明/提供:松本源明]

● 営業中の出石鉄道

開業当初の出石鉄道は、出石～江原間 11.2km を 35 分かけ、1 日 7 往復していました。その表定速度（駅での停車時間を含めた平均速度）は約 20km/h と自転車並み。乗客は 1 列車あたり平均 10 人～20 人だったようです。

やがて貨物輸送が軌道に乗って経営は安定していきますが、昭和 9 年（1934）と昭和 17 年（1942）の 2 度にわたり、円山川に架かる鶴岡橋梁が流失。貨物輸送ができなくなったほか、乗客も減り、さらには復旧工事費の負担も重なり経営は苦しくなっていました。



各種の申請書〔個人蔵〕



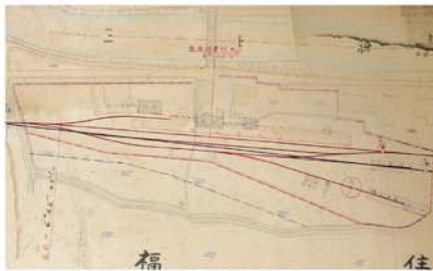
出石鉄道のレール



合図灯



社印〔個人蔵〕



路線平面図（出石駅部分）



鶴岡橋梁を渡る江原行混合列車
〔昭和 12 年（1937）／提供：荒井憲治〕



室戸台風で流失した鶴岡橋梁の復旧工事
〔昭和 11 年（1936）／提供：荒井憲治〕



出征兵士を見送る人々
〔昭和 11 年（1936）／提供：荒井憲治〕



蒸気機関車 22 号 〔昭和 14 年（1939）／
撮影：西尾克三郎、提供：安保彰夫〕



出石駅のガ 1 号とガ 2 号
〔撮影年不明／提供：荒井憲治〕

● 休止、そして廃止

昭和 18 年（1943）、太平洋戦争の戦局悪化のため営業休止命令が出されました。出石の人々は決起集会を開いて反対運動を繰り広げましたが、翌年、鉄道施設は撤去。出石鉄道はわずか 15 年で休止されました。

戦後、復活に向けた陳情も認められることはなく、昭和 45 年（1970）に正式に廃止。大正 8 年（1919）の免許取得から 51 年、鉄道の営業休止から 26 年。出石鉄道はひっそりとその歴史に幕を下ろしたのです。



出石鉄道バス乗車券
〔年代不明／個人蔵〕

鉄道事業の休止後、会社はバス事業が中心に。出石～江原間だけではなく、豊岡市日高町八代地区にも路線が延びている。「停留所」ではなく「駅名」と記されていることにも注目。



休業式での記念撮影。後方は 1500 形客車
〔昭和 19 年（1944）／提供：安保彰夫〕

年	月	(西暦)	出来事
明治 29 年	2 月	1896	出石郡有志、山陰線が出石を通るよう意見書を提出
大正 8 年	6 月	1919	出石軽便鉄道株式会社設立。鉄道敷設免許を受ける
大正 9 年	3 月	1920	出石軽便鉄道株式会社を出石鉄道株式会社に商号変更
大正 10 年	1 月	1921	出石鉄道建設工事に着手
昭和 4 年	7 月	1929	建設工事竣工 (7 月 20 日)。7 月 21 日開業
昭和 5 年	7 月	1930	豪雨のため築堤が決壊。3 日間運休
昭和 9 年	9 月	1934	室戸台風により円山川・鶴岡橋梁流失
	10 月		円山川兩岸に鶴岡仮駅を設置。江原～鶴岡、鶴岡～出石間で折り返し運転開始
昭和 11 年	6 月	1936	鶴岡橋梁復旧。仮駅を廃止し、全線で運転再開
昭和 13 年	—	1938	江原自動車からバス路線を買収。バス路線を運休させ、鉄道収入の増加を図る
昭和 17 年	8 月	1942	出石車庫の火災によりガ 1 号を焼失
	9 月		台風で再び鶴岡橋梁が流失
	—		八日市鉄道からガソリンカーを購入。江原～円山川間で運行
昭和 18 年	12 月	1943	営業休止命令が出る
昭和 19 年	1 月	1944	出石鉄道休止に関する町民大会を永楽館で開催
	5 月		強制撤去命令により鉄道設備を撤去。営業休止
昭和 21 年	4 月	1946	出石鉄道復旧請願陳情書を運輸大臣宛てに提出
昭和 27 年	3 月	1952	自動車運輸営業権を全但交通に譲渡
昭和 41 年	1 月	1966	株主総会で解散決議をし、清算に入る
昭和 44 年	9 月	1969	株主総会にて清算完了の承認を得て、株式会社出石鉄道廃業
昭和 45 年	7 月	1970	出石鉄道廃止が許可される



鶴岡橋梁の建設工事
〔昭和 3 年 (1928) / 提供: 松本源明〕



鶴岡橋梁を行くガ 2 号
〔撮影年不明 / 提供: 荒井憲治〕

安保彰夫 2010『出石鉄道—二千人の株主が支えた鉄道—』(ネコ・パブリッシング)を参考に作成

● 関連事業のお知らせ

■ 講演会「出石鉄道の歴史」

日 時: 平成 27 年 4 月 25 日 (土) 午後 1 時 30 分～

会 場: 但馬国府・国分寺館 映像ホール

講 師: 中村英夫さん (郷土史家)

* 聴講には入館料が必要です。予約は不要。

■ 第 21 回ミニ企画展

「ちいさな鉄道展—ふじおコレクション—」

会 期: 平成 27 年 2 月 13 日 (金) ～ 5 月 6 日 (水)

会 場: 但馬国府・国分寺館 総合学習室

* ミニ企画展のみの観覧は無料です。

* 常設展・企画展の観覧は右記の料金が必要です。

■ 鉄道模型・大ジオラマがやってくる!

日 程: 平成 27 年 3 月 28 日 (土) ～ 4 月 5 日 (日)

協 力: 北近畿鉄道友の会

* 車両持ち込みも可。参加は無料です。

● 但馬国府・国分寺館のご利用案内



国分寺館キャラクター
たじまろ・くにひめ

■ 開館時間

午前 9 時～午後 5 時

(入館は午後 4 時 30 分まで)

■ 休 館 日

水曜日 (祝日は開館し、翌日休館)

年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)

■ 入 館 料

一 般 500 (400) 円

高 校 生 200 (150) 円

小中学生 150 (100) 円

* () は 20 名様以上

* 県内小中学生は無料

* 65 歳以上の方は半額

■ 最新情報はホームページをご覧ください。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>

■ facebook ページ公開中!

<http://www.facebook.com/tajima.kokubunjikan>